

芹川

河川概況

a) 河川現況 7月、8月の芹川上流山間部の月間降水量は、それぞれ60~80mm, 60~100mmで、例年夏季の降水量に比べ(彦根で7月が平年の1/4, 8月が1/3の降水量)⁴⁾、極めて少なく、異常旱魃となった。このため多賀町月之木にある今井堰で河川水は全部田用水として取水されたので、その井堰から河口までの区域は表層水は完全に枯渇し、所々に水溜りがある程度であった。

アユの産卵期の9月5日、6日や9月15日には台風の接近による降雨はあったが、主に湖西

に降り、本川では全く出水しなかった。(彦根の降水量は171mmで平年より30mm少なかった。)⁴⁾ 10月も雨量は少なく、9・10月を通じて僅かに通水した日があったのみであった。この僅かな通水が続いた9月24日に仔アユの流下数の多いと予想される21:00に試験採集を行なったが、仔アユ・卵共に全く採集されなかった。9月24日の採集点は平田川との合流点より約50m下流で、流れ巾3m、水深20cm、流速0.7m/secで半量は平田川の流量であった。この試験採集が0であったことと、その後の河川状況が、変らず完全渇水又は、時に僅少量通水という状況だったので、4~5日間隔で予定していた調査は中止せざるを得なかった。(図32参照)

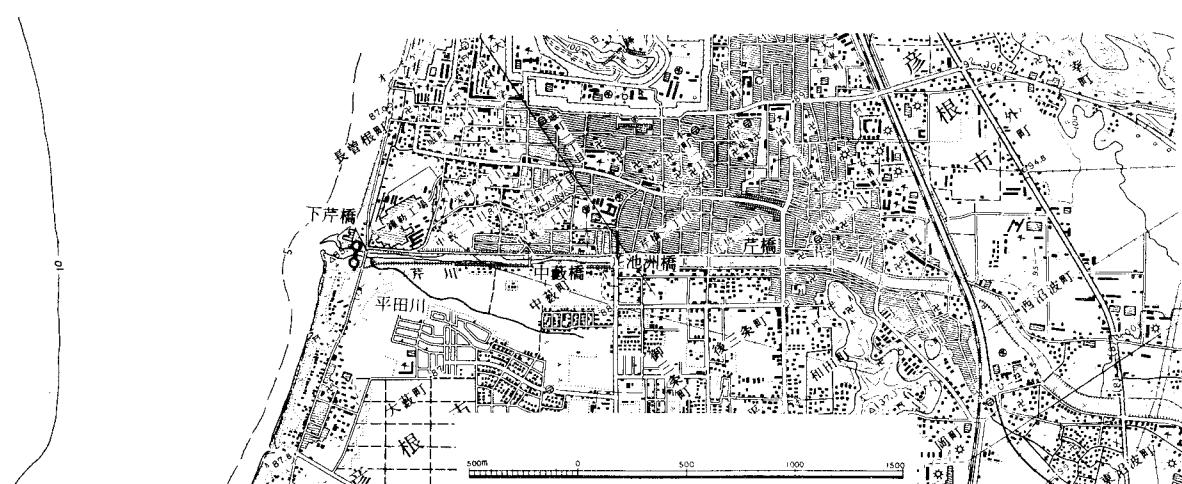


図32 芹川調査地点附近

○—○：採集地点